

科研「フィールドワーク方法論の体系化」  
「データ収集法の探究」班

#### 2011 年度の調査実績

- 8 月オーストリアにおけるスキーリゾートの発展傾向
- 8 月スペインの沿岸リゾート景観（バルセロナ～バレンシア）
- 8 月白馬村における外国人向け宿泊施設の立地
- 9 月大分県における温泉地景観（別府，湯布院，湯平）
- 10 月下伊那における地域生態
- 12 月オーストリアにおけるスキーリゾートの発展傾向
- 1 月ニセコにおける外国人向け宿泊施設の立地

#### 2011 年度の研究業績

##### <論文>

呉羽正昭：日本におけるルーラル・ツーリズムの展開 -ルーラリティの消費に着目して-  
愛媛の地理, 21, 57-64, 2011.

##### <書籍>

呉羽正昭：ヨーロッパにおけるフィールドワーク. 上野健一・久田健一郎編『地球学調査・  
解析の基礎』古今書院, 196-198, 2011 年.

呉羽正昭：観光地域と観光客流動. 加賀美雅弘編『EU（世界地誌シリーズ 3）』朝倉書店,  
53-63, 2011 年.

##### <中間報告>

「人文地理学のフィールドワークにおけるデータ収集法の検討 -フィールドワークをめ  
ぐる関係構造に着目して-」

#### 2012 年度の予定

##### ・データ収集法の習得プロセスについて

大学院の「地誌学野外実験」にて，大学院生によるデータ収集法の習得について引  
き続き検討する。大学院生に対して，フィールドワーク実践における経過や問題点  
についてアンケート調査を実施することを検討する。

##### ・観光地域におけるデータ収集方法の一般化の検討

過去の研究において，どのようなフィールドワークを実施し，どのようなアウトプ  
ットがあるのかを整理する。

##### ・具体的な調査予定

北海道ニセコ，長野県白馬，オーストリアのスキーリゾート